

まつやま 松山ため池決壊時ハザードマップ

(浸水想定区域について)

○想定を上回る気象条件下では浸水区域が拡大する可能性があり、必ずしもこのハザードマップのとおりになるとは限りません。

(避難の目安)

○強い地震や大雨により、ため池堤体が決壊するおそれがある場合。
○市から避難勧告等が発令された場合。

(避難時の注意点)

○避難できる状況にある場合、ハザードマップを参考に浸水想定区域を避けて迅速に避難して下さい。
○大雨時にはテレビやラジオ、防災無線等の気象情報及び避難情報等に注意し、早い段階での避難を心掛けて下さい。
○外出が難しい状況の場合、自宅の2階など、できるだけ高いところへ避難して下さい。
○避難時は水深に注意して下さい。

※ため池の決壊以外の災害については、「宮古市防災ハザードマップ」を参照して下さい。

2. 花輪中学校 (体育館)

3. 花輪小学校

■近隣の指定避難所

No	名称
1	宮古浄化センター (2階)
2	花輪中学校 (体育館)
3	花輪小学校

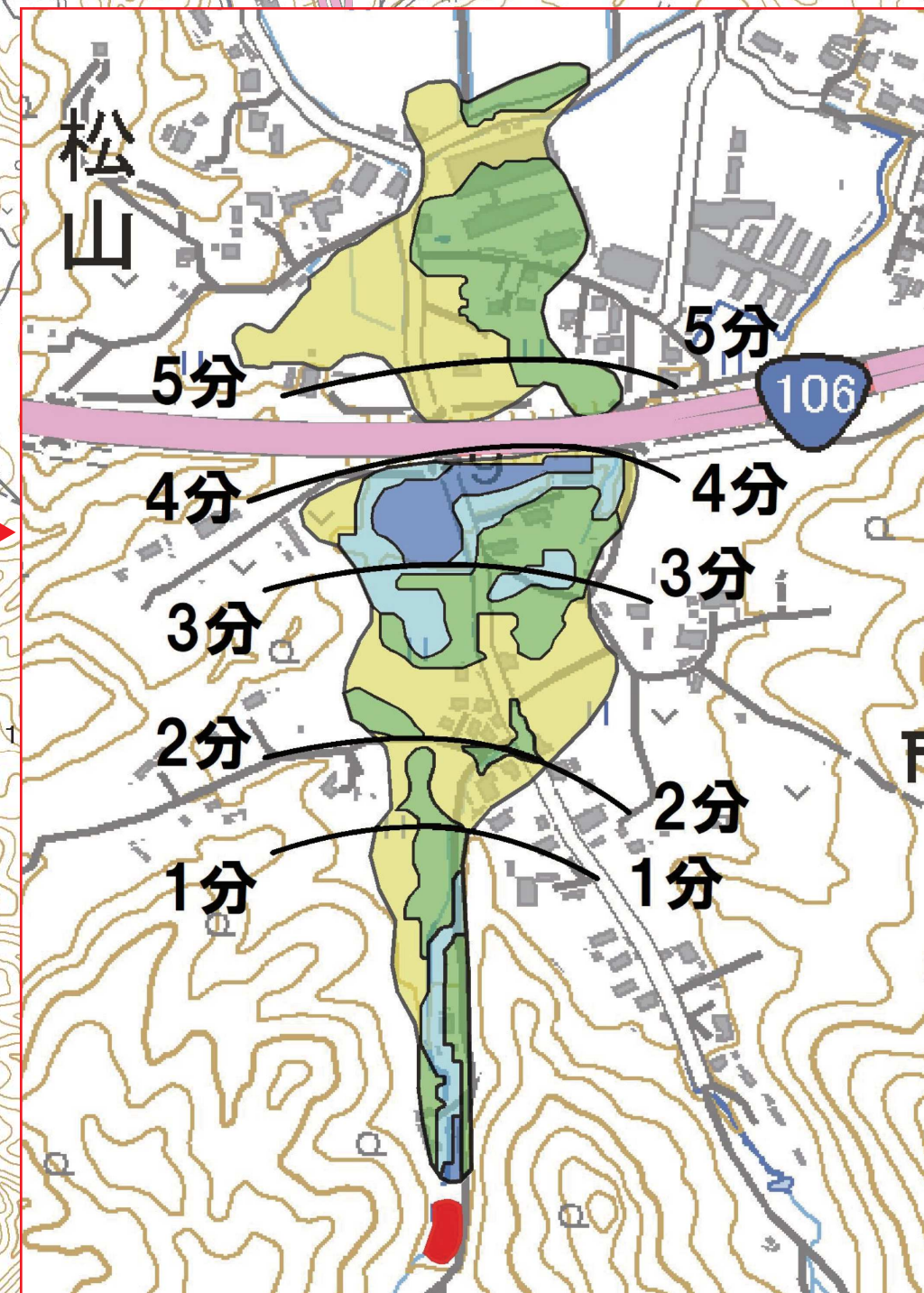
まつやまため池
松山溜池
貯水量 2.0 千 m^3

拡大図

浸水深の目安	
浸水深	浸水の目安
0.5m 未満	大人の膝までつかる程度
0.5m ~ 1.0m	大人の腰までつかる程度
1.0m ~ 2.0m	1階の軒下まで浸水する程度
2.0m ~ 5.0m	2階の床下まで浸水する程度
5.0m 以上	2階の軒下まで浸水する程度

凡例

	避難所	避難生活がある程度長引くと考えられる場合に、避難者が生活するための施設
	避難途中待機場所 (市指定外)	避難所まで行く余裕がない場合、一時的に待機できる比較的広い場所
○分—○分	洪水到達予想時間	ため池が決壊してから、洪水が到達する予想時間
	要注意箇所	ため池の決壊に限らず、雨による浸水または冠水の注意が必要なエリア



松山ため池決壊時ハザードマップ

◆ため池決壊時ハザードマップ

近年、局地的な大雨や大規模な地震の発生などにより、ため池の被害が各地で発生しています。

平成30年7月豪雨の際は、西日本で32カ所のため池が決壊し、下流の住民へ大きな被害が及びました。また、東日本大震災の際は、福島県の農業用ダムが決壊し、死者、行方不明者8名、家屋全壊22戸等の甚大な被害をもたらしました。



濁流が襲ったため池下流の集落

「ため池決壊時ハザードマップ」は、ため池が決壊した場合に想定される浸水区域を図化し、皆さんが安全に避難できるように必要な情報を記載しています。

写真出典：農林水産省 Web サイト (http://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/nousin/bukai/h25_1/pdf/data03_2_4_2.pdf)

◆ため池決壊時ハザードマップの見方

「ため池決壊時ハザードマップ」は、ため池の位置、浸水想定区域、避難所などを記載しています。

○マップ上の着色部分が浸水想定区域を表しています。

○浸水想定区域は、右表のとおり浸水深別に色分けしています。

浸水深の目安	
浸水深	浸水の目安
0.5m 未満	大人の膝までつかる程度
0.5m～1.0m	大人の腰までつかる程度
1.0m～2.0m	1階の軒下まで浸水する程度
2.0m～5.0m	2階の床下まで浸水する程度
5.0m 以上	2階の軒下まで浸水する程度

○洪水到達予想時間を区分け線で示しています。

○避難所及び周辺の施設を表示しています。あらかじめ避難する場所を決めておくことが重要です。

◆ため池決壊時ハザードマップのシミュレーション条件

「ため池決壊時ハザードマップ」は、以下の条件によりシミュレーションしています。

○ため池が満水の状態で、地震または大雨により瞬時（一気）に決壊する。

○ため池の周辺に大雨が降り、河川・水路等の水位が上昇している。

（1時間あたり48.2mmの雨が降っている状況でため池が決壊した場合を想定しています。）

想定を上回る気象条件下では、浸水区域が拡大する可能性がありますので、必ずしもこのハザードマップのとおりになるとは限りません。

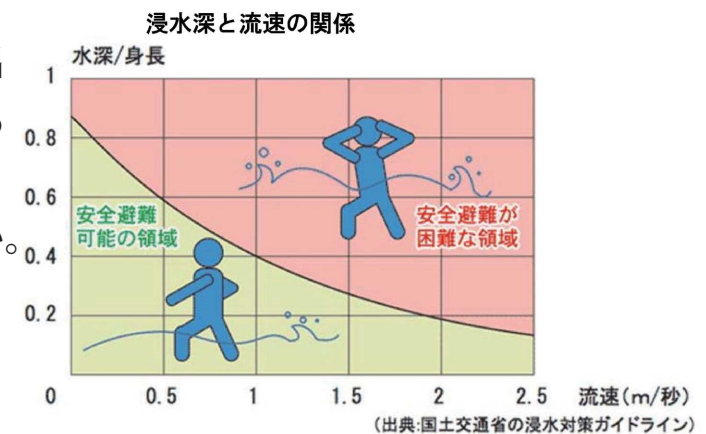
◆避難の目安

- 強い地震や大雨により、ため池堤体が決壊するおそれがある場合（避難時の注意点参照）。
- 市から避難勧告等が発令された場合（テレビやラジオ、防災行政無線、広報車、緊急速報メール等を通じて情報が発信されます）。

ため池が決壊することを事前に予測することは非常に困難です。いざという場合に備えて、日頃から非常時の準備をし、避難勧告等が発令された場合には速やかに避難所に避難してください。

◆避難時の注意点

- 時間雨量が20mm以上になると災害が発生するおそれがあります。
- 長雨が続いた場合は、地盤が緩み、災害が発生するおそれがあります。
- 大雨時にはテレビやラジオ、防災無線等の気象情報及び避難情報等に注意し、早い段階での避難を心掛けてください。
- 避難できる状況にある場合は、ハザードマップを参考に浸水想定区域を避けながら迅速に避難してください。
- 強い地震が発生した場合や強雨により外出が難しい場合は、自宅の2階など、できるだけ高いところへ避難してください。
- ため池決壊時には水深に注意してください。
- 洪水の速さは、最大で約4m/秒です。浸水区域のほとんどで歩行が困難または不可能な状況になります。



◆日頃からの管理の徹底

ため池の老朽化や維持管理の不備が、突発的な事故の引き金となります。日頃から適正な管理に努めましょう。

- ため池堤体の草刈り、洪水吐の清掃の徹底など。
- 大雨や長雨が予想される場合は、低水位管理とするなどの工夫。

◆災害時の主な連絡先

宮古市役所	0193-62-2111	県立宮古病院	0193-62-4011
宮古警察署	0193-64-0110	東北電力（停電時の問合せ）	0120-175-366
宮古消防署	0193-62-5533	N T T 東日本（故障受付部門）	113